

「令和4年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」について

日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、過日ご協力をいただきました「令和3年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」と、本校で実施した「児童アンケート」ならびに「教職員アンケート」の結果をもとに、下記のように「本校における教育活動に関する評価」をまとめました。今後も、皆様からいただいたご指摘等を踏まえ、次年度に向けて、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

1 評価の判断基準について

4 = そう思う	3 = だいたいそう思う
2 = あまりそう思わない	1 = そう思わない

の回答に対して

① 「4」 > 50%
② 「4」 + 「3」 ≥ 80%
③ 「2」 + 「1」 ≤ 10%

①～③の条件を

「◎」…すべて満たしているもの	「○」…2つ満たしているもの
「△」…1つ満たしているもの	「▲」…1つも満たしていないもの

で評価しました。

2 評価結果と改善策

	項目・質問 等	対象	平均	4	3	2	1	評価
1	学習指導（授業の理解・学力の向上） Q. 授業の内容を理解しているか。	児童	3.6	70%	25%	3%	2%	◎
		保護者	3.7	32%	58%	9%	1%	○
		教職員	3.3	29%	71%	0%	0%	○
改善策	○ 主体的な学びにつながる学習形態の改善や環境整備に努めつつ、算数を中心としたチームティーチングを継続していきます。							
2	ICT 技能 Q. タブレットの使い方を理解しているか。	児童	3.6	69%	25%	3%	3%	◎
		保護者						
		教職員	3.1	14%	79%	7%	0%	○
3	ICT 活用 Q. 必要に応じてタブレットを活用できているか。	児童	3.4	53%	38%	6%	3%	○
		保護者	3.1	35%	47%	17%	1%	▲
		教職員	3.1	21%	71%	7%	0%	○
改善策	○ 保護者の方々にもどんなことにタブレットが活用されているか、学校だよりや懇談会等で伝えるようにします。							
4	学級経営の充実 Q. 学級・学校を楽しんでいると感じているか。	児童	3.7	78%	14%	5%	3%	○
		保護者	3.5	47%	48%	5%	0%	○
		教職員	3.6	57%	43%	0%	0%	◎
改善策	○ 温かな人間関係を大切にし、友達と一緒に勉強したり、活動したりといった、「学校だからこそ味わえる楽しさ」を大切にしたい集団経営を目指します。							
5	あいさつ Q. 進んであいさつができているか。	児童	3.3	47%	36%	11%	6%	▲
		保護者	3.3	41%	50%	6%	3%	△
		教職員	3.5	55%	36%	9%	0%	○
改善策	○ 毎月第1週目の週目標をあいさつ関連にし、児童会でも「あいさつ週間」を設け高学年代表委員が登校時校門に立ってあいさつへの意識を高めています。児童同士の関わり合いを大切にして、職員もあいさつをしっかりとできるよう、登下校時のあいさつを特に大切にします。							
6	言葉遣い Q. 言葉遣いに気を付けているか。	児童	3.3	47%	40%	9%	4%	▲
		保護者	3.1	29%	52%	17%	2%	▲
		教職員	3.4	43%	50%	7%	0%	○
改善策	○ 集団生活における他者への心遣いや最低限のマナーについて、適切に継続的な指導を心掛けていきます。また、学校内だけではなく、PTAとも連携し、TPOに合わせた言葉遣いの定着を図っていきたく考えています。							

	項目・質問 等	対象	平均	4	3	2	1	評価
7	けじめある生活 Q. 約束やルールを守り、生活できているか。	児童	3.6	65%	29%	4%	2%	◎
		保護者	3.3	39%	58%	3%	0%	○
		教職員	3.4	36%	64%	0%	0%	○
改善策	○ 年度初めに比良西小のルールを徹底させ、整合性を保つようにする。また、学校外でのルール（交通安全、防犯等）については、各家庭と協力し指導を進める。							
8	いじめのない学校づくり Q. 友達と仲良く助け合って生活できているか。	児童	3.6	68%	29%	2%	2%	◎
		保護者	3.4	30%	60%	10%	0%	△
		教職員	3.5	50%	50%	0%	0%	◎
改善策	○ 児童一人一人の声に耳を傾け、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。また、学校全体で共有し、家庭や各関係機関と連携して、相談しやすい環境を整備します。							
9	学校行事、児童会・ペア活動・委員会・クラブ活動の推進 Q. 各種活動に進んで参加しているか。	児童	3.5	62%	30%	6%	2%	◎
		保護者	3.4	42%	54%	4%	0%	○
		教職員	2.9	7%	79%	14%	0%	▲
改善策	○ 学校生活が豊かになるように、各活動に主体的に取り組むことができるように指導・支援を行っていきます。							
10	情報発信（各種たよりや学校ホームページ） Q. 教育活動を分かりやすく伝えているか。	児童						
		保護者	3.4	46%	49%	4%	1%	○
		教職員	3.1	21%	71%	7%	0%	○
改善策	○ 個人情報に配慮しつつ、ホームページやメール配信など、情報発信することで保護者の意見を受信し、双方のコミュニケーションの流れを作り、情報を共有していきたいと思えます。							
11	家庭や地域と協力・連携、相談体制 Q. 連携を図り、教育活動が行われているか。	児童	3.4	56%	29%	12%	4%	○
		保護者	3.3	34%	57%	9%	0%	△
		教職員	3.2	29%	64%	7%	0%	○
改善策	○ スクールカウンセラーやスクールセクレタリー、スクールソーシャルワーカーなどと連携して、子どもも保護者もよりよい環境で生活できるように、チームで活動をサポートしていただけるようにします。							
12	安全指導 Q. 安全に関する指導や各種訓練は有効か。	児童	3.6	67%	28%	1%	3%	◎
		保護者	3.5	51%	49%	0%	0%	◎
		教職員	3.3	29%	71%	0%	0%	○
改善策	○ 毎月行っている安全点検や保健・衛生面の点検により、不良・危険箇所の早期発見、早期修繕を心掛け、児童のけがや事故防止に努めていきます。また、「心の天気」や「スタンドバイ」などを活用して、児童の変化に早期に気付けるよう体制を整えていきます。							

3 その他

- 行事を通して、児童にどのような力を身に付けてほしいのかを明確にした上で、指導時間も考慮しながら各種行事に取り組んで行きたいと思えます。
- 昨年度に引き続き、本年度もオンラインゲーム上のトラブルについて指導を行う機会がありました。タブレット端末の使い方も含め、学校や家庭、警察等と連携して、ICT機器の正しい使い方について指導を進めていきます。

4 学校評議委員から

本年度も新型コロナウイルス感染症対策に重きが置かれたが、昨年度と比較すると様々な行事や活動が再開できたことは大変喜ばしい。その中で、保護者や地域の方の助けが必要になってくることも多々あると思うが、どうか未来ある子どものために力を貸してほしい。また、児童の中でタブレットが生活の一部となっており、様々な取り組みについて、学校だよりを通じて知ることができた。それでも、対面や手書きの良さも残しつつ、これからもICT機器をうまく使いこなせる人を育てていってほしい。